

別記様式（第3条関係）

会 議 録（1）

会議の名称	令和7年度桶川市公民館運営審議会第2回定例会	
開催日時	令和7年10月27日（月） （開会）午前9時30分 （閉会）午前11時45分	
開催場所	桶川公民館 研修室1、2	
議長	湯浅委員長	
出席委員	委員長 湯浅哲朗、副委員長 小野原典子 委員 矢澤等、高柳千恵子、中林邦彦、星野昇、石田文子	
事務局職員 職名及び氏名	桶川公民館長 岸哲也、主任 加藤潤也、主任 尾崎祐未子 桶川東公民館長 森田光昭、主任 諸岡禪 加納公民館館長 岸館長兼務、主査 青木政人、 主任 増山幸子、主任 大内淳 川田谷公民館長 白子隆之、主任 三村紋子、主任 関根豊、 主任 山本栞	
会 議 事 項	委嘱状交付 議 題	委員改選に伴う委嘱状の交付 （1）①正・副委員長の選出（互選） ②生涯学習推進委員の選任 ③青少年健全育成市民会議委員の選任 （2）前回会議録の承認 （3）報告事項 ①今年度上半期の講座実績について ②「夏休み子どもワールド」及び自習室の実績について ③下半期に予定する講座について ④サークル発表会について ⑤中学生社会体験チャレンジ事業受け入れについて ⑥「公民館管理規則」の一部改正について ⑦モバイルWi-Fiルーター貸出について
	協議事項	なし
	その他	第47回全国公民館研究集会・第65回関東甲信越静公民館研究大会東京大会について（11月12日）
	決定事項	議事1 ①委員長 湯浅哲朗、副委員長 小野原典子 ②小野原典子委員を推薦 ③石田文子委員を推薦 議事2 承認 報告事項 了承
配布資料	会議次第及び説明資料（資料1～9）	

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
公民館長	<p>次第 1 開会宣言</p> <p>次第 2 あいさつ 教育長</p> <p>次第 3 議事 (1) ①正副委員長の選任</p> <p>委員長 湯浅委員、副委員長 小野原委員を選任</p> <p>委員長 就任挨拶 今年で公民館がスタートして 80 周年にあたる。当時の文部省の社会教育担当で寺中作雄さんという方が、戦後の日本の社会に民主主義を定着させる、住民自治を浸透させるという目的で公民館を作ろうと構想を提案したのが 1946 年 6 月だった。1949 年に社会教育法が制定される。たまたま私が生まれたのがその年で、生まれた頃の社会はこんな風に様々な制度的なものが作られていて、戦後の新しい日本を作っていこうとする活気ある時代だったと感じた。今日委員長に就任することになり、これも何かの縁かなと受け止めている。教育長の挨拶にもあったが、時代は変わっていく。状況は変わっていく。その中で新たな課題が生まれていく。公民館としてどういう風に対応していくべきか、どう考えるかを一緒に考えていきたい。</p> <p>副委員長 就任挨拶 これまで 2 年間委員をやって皆さん一生懸命発言されているのがとても印象に残っている。わからないなりに気軽に声を上げる。あれっと思ったことを出していくことが住民の皆さんの声を届ける一歩だと思うので、今年度もフランクにできることを発言、声に出しながらやっていきたいと考えている。</p>
委員長	<p>②生涯学習推進委員の選出【資料 1】</p> <p>小野原委員を選任</p> <p>③青少年健全育成市民会議委員の選任</p> <p>石田委員を選任</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員長	次第3議事(2)前回会議録の承認
委員	異議なし
委員長	承認された
委員長	(3) 報告事項①今年度上半期の講座実績について【資料2】
委員	東公民館のふれあい学級4回目の「元気にパドル体操」を見学させてもらったが、定員70人で人数を数えたら50人だった。しかも男性が極端に少ないので、課題かと思う。
事務局	男性も興味が湧く内容を考えるのが課題と捉えている。
委員	各館の定員合計210人となっているが、第4回目「元気にパドル体操」参加者129人なので、欠席にはそれぞれの事情があるにしても、低いと思う。定員から何の理由なのか、考えるべきと思う。
委員	公民館で講座を企画する際に、時代の流れや地域の要望を踏まえ、市民からの要望について、それを反映させるルートがあるのか。例えば講座の後のアンケートにどんな講座を受けてみたいか聞く、又は利用者からどんなのを受けたいか聞くのがあるとは思いますが、そうではない所でこういう講座が必要だと思う、受けたい、と声を上げるルートがあるのか。
事務局	アンケートに、次どんな講座に参加してみたいか書いてもらうか、利用者からどんなのがいいのか聞いている。
事務局	公民館として期間を決めていつまでに要望をというような仕掛けは行っていないが、市長への投書箱的なもので「市民の声」があり、メールでも聞ける体制が市としては備わっている。
委員	意見を言えば聞いてもらえるというのはわかっているが、講座内容の希望を伝えるのにオープンなルートがあると、もしかしたら取り上げてもらえるかなと思うのでは。みんなの声を聞きながら講座を作っている。来年度の講座企画を考える時に、タイムリーに声を上げることができるルートがあったらいいなと思う。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	各館ごとにどんな事業をやるのかという企画会議的な場というのがあるのか。
事務局	各館ごとにはある。
委員	企画について話し合う場で、すでに行った講座の中のアンケートで出てきた市民からの要望をまとめておいて取り上げる作業を今までやっているのか。
事務局	教育委員会で点検評価として、講座の次回の参考にアンケートを活用すると回答している。アンケートの中で全員がそのアンケート結果で、次回の講座を決定しているわけではない。あくまで参考程度にというレベルではあった。今回からは本腰を入れてアンケート結果を参考にしようという方針。
事務局	予算の都合でできないこともある。年度当初に打ち合わせをしながら、各館で1年間の事業計画を行っている。
委員	市民が何かの要望を持つというのはすごく大事なことで、まずはそれを受け止めてほしい。各講座で行うアンケートは書いたっきりで終わりではなく、実はそこからでしょう、ということがある。せつかく何か書いてくれたとしても、それをちゃんと確認して受け止めなきゃいけない。それが実施できるかはまた次の問題。必ずしもできなくても、できない条件があるならしょうがない。あるいは工夫次第でできることがあるならやってほしいなど色々なことがあると思うが、まずは受け止めてほしい。それを職員で共有するものとして、確認する場を設けてほしい。それを習慣づけてほしい。公民館の一番大事なところは住民自治だと私は何度か言っているが、住民がどれだけ主体的に公民館に関われるか。そこが多分勝負。そこをないがしろにしてはいけない。公民館はカルチャースクールじゃない。ぜひそれぞれの公民館で工夫してほしいと思う。
委員	必ずしもその年度にというのではなくて、準備に時間がかかることがある。とりあえずアイデアとして声として受け止めて温めておけば、どこかでできるかもしれない。そういうことも含めて上がってきた声を大事にしてほしい。
委員	地域性がそれぞれの公民館ごとにあると思う。川田谷地域は本当に地域性があるが、今までと違って特に若い方は仕事の都合で呼びかけても中々来てもらえないということが課題かなと思う。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員長	②夏休み子どもワールド及び自習室の実績について【資料3、4】
委員	夏休みに共働きの父親をもっと引き出すために、親子参加のものをもっと増やしてもいいと思う。公民館になじんでもらうためにもいいと思う。定員組数を増やすことはできないか。
事務室	会場スペースの利用可能人数や内容によって、講師が一度に指導できる人数に限りがある。
委員	送り迎えができない家庭の子はどうしているのか。特に低学年の保護者から相談があるか、配慮していることがあるのかどうか。事務局で感じたことなども知りたい。
事務局	配慮していることはない。開催日になるべく4館重ならないように設定をしている。こどもの居場所づくりを目的にしていることもあり、平日にも開催している。
事務局	実感として、保護者が夏休みに休みやすくなっているように見受けられる。平日の講座に父親が送迎する方もけっこう目立っている。母親だけではなく、父親もこどもだけの参加の講座も送迎だけはしている方が多くなっている。
事務局	送迎の心配がない親子で参加できる講座をもう少し考える。
委員	こども対象で送迎に父親が来た際、場合によってはお父さんに声掛けをしてスタッフ的に手伝いをしてもらえるケースというのではないのか。
事務局	ない。
委員	子ども会でイベントを開催し父親が来た。お父さんたちは集団の中で遊んだ経験がすでにない世代になっている。せっかくのいい機会だからお父さんも遊びましょう、と誘っている。それは公民館の講座となるとそうはいかないだろうなど。
委員	こどもだけで参加となると行き帰りの安全というところでは、小学校では登校班もありまして、気を付けているところ。公民館に行くとなると道が変わってきますので、また考えていかなければならないのかなと思った。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	桶川高校や桶川西高校と講座企画し人気の講座になっている。大学との連携講座もスタートして、将来の進路指導やキャリア教育に関わってくる。上級学校を小学校のうちから意識ができるというのは、とても素晴らしいことだと思う。今後も連携ができる事業があれば、恐らく子どもや保護者も興味を持つと感じる。
委員	参加人数が少ない講座も必要があると思う。「家族で語ろう飛行学校祈念館見学」の参加は2組だった。親子で参加できない事情もあると思うが、こういう講座はぜひ継続してほしい。
事務局	今年度上半期の市定例監査で講座の実績で同じことを言われた。参加者が少ないがこの講座を育てていく、人数が少ないから他の講座と入れ替える、という選択肢がある。特に戦争や伝統文化、後世に引き継いでいく必要があるもの、大切なものは参加人数にとらわれずに公民館として社会教育として継続していく予定。
委員	小学4年生が「ちいちゃんのかげおくり」を国語の授業でやるので、飛行学校祈念館と関連付けて話してもらえると少し興味が湧くと思った。話だけではなくて行ってみると、また違った感覚があると思う。
委員	公民館と学校がなるべく連携していければと思う。
委員	自習室は小学生の利用が多く、中学生は川田谷公民館のみ。中学生は学校通してPRできればと思いますが、逆に大勢来すぎて別な面で迷惑をかけないかそういった心配も感じている。課題は共有して、利用のマナーが気になった、あるいはもっと利用していいということがあれば、情報共有ができるので言ってほしい。
委員	利用人数が少ないからニーズがないということではなく、大事な部分。少なくとも自習室を必要としている人たちはいるということは受け止めて、ぜひ継続をしてほしい。
委員	こどもの居場所づくりで、公民館のロビーに自然に子ども達が集まって気軽に来ることができるというのがとても良い。自習室含み、ぜひ継続を。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員長	③下半期に予定する講座について【資料5】
委員	中学生企画講座について、生徒自身の企画力やプレゼン能力を高められてそれが将来につながるのかなと思う。企画が形になると自信にもつながると思う。
事務局	企画講座の参加者が中々集まらず苦戦しているので、PRについて、学校と連携していきたい。
委員	部活動の予定を組んでいることもあるので、日程がわかった時点で少しでも早く学校に連絡を入れて、特に企画生徒の学校には友達や知り合いを誘ってもらえるように促しはできると思う。
委員長	④サークル発表会について【資料6、7】
委員	川田谷公民館発表会を観た。6年ぶりの開催ということで、その間にサークルがなくなってしまったなど影響はあったか。
事務局	かなり減った。コロナ渦と改修工事中があり、解散や活動拠点を移動したサークルもある。
委員	減った分は全部が消滅したわけではなく、一部は拠点を移したケースもあるということだが、また新しくサークルが発足してほしい。
委員長	陶芸ができる施設はべに花ふるさと館と川田谷公民館しかないので、他の地域からの一般団体も利用している。
委員	サークル以外は、発表会に参加できないのか。
事務局	原則サークルのみ参加できる。ステージ発表は音楽等の団体がない館があるので、実行委員会に諮ったうえで、他館のサークルや自館の一般団体に出演依頼をしている。
委員	川田谷公民館については、それなりに呼びかけや工夫をしていかないと、開催が危ぶまれる状況が続くということか。
事務局	今回の発表会では1団体1部屋の割り当てができる程、サークル数が減った。各サークルがゆったりしたスペースで展示ができて好評だったが、これ以上サークルが減ってくると影響はあると思う。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	新しいサークルが生まれてくるようになんとかお願いしたい。
事務局	川田谷公民館の施設の特徴を生かして、今後努力していく。
委員	サークルの維持が非常に大変だと感じている。サークル運営を行っているが、会員募集を市報やポスターで呼びかけても、中々来ない。一方で、カリンバサークルは、市民活動サポートセンターにポスター掲示をしたら一気に5人きた。新しい趣味でサークルを作ると結構来る。サークルは立派な公民館の教育だと思っている。どんどんきてもらうといいなと思っている。
委員長	⑤中学生社会体験チャレンジ事業受け入れについて
事務局	職業体験として講座企画を行った。 桶川西中学校 編みものキーホルダー作り 加納中学校 春休みの思い出、はにわ作り 桶川東中学校 推しの缶バッチを装飾してロゼット作り
委員	ロゼットはどんなものか。
事務局	勲章みたいな形のもの。缶バッチをデコってリボンをつけたり、自分だけのオリジナルを作る。
委員長	⑥「公民館管理規則」の一部改正について【資料8】
事務局	青少年団体や社会福祉団体などの団体が使用する場合は、減免で使用をしている。減免の対象であるとわかりやすくするために、規則を改正した。改正前後で不利益は生じていない。
委員長	⑦モバイルWi-Fiルーター貸出について【資料9】
事務局	8月から運用を開始した。講座や利用団体に貸出ができる。費用は無料。2日前までに予約で利用できる。パソコンを持ち込んでネットを使用できるようになっているので、活動の幅が広がることが期待されている。活用の検討をお願いしたい。
委員	時代の変化に合わせて、ようやく基本的な条件整備ができたと感じる。すべての公民館で使用できるのか。
事務局	4館で1台を予約制で貸出している。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	同じ時間に同時には使用できないので、すべての館に欲しいと思う。
委員長	次第4 その他 第47回全国公民館研究集会東京大会、第65回関東甲信越静公民館研究大会東京大会について（11月12日）
事務局	湯浅委員、小野原委員 出席予定 来年度は10月開催、10年に1回の埼玉大会が予定されている。
事務局	社会教育関係委員合同研修会は開催せず、県主催の社会教育関係委員・職員研修会に参加予定。 日程：令和8年1月22日（木）13時30分～ 会場 東公民館
副委員長	次第5 閉会 副員長あいさつ 課題も含めて様々な意見交換ができた時間だったと思う。子供たちが高校生と関わっている、大学生から学んでいる、あるいは中学生が様々な講座を企画していると聞いて、活発な活動がされていると感じる時間であった。長時間に亘りありがとうございました。
公民館長	閉会宣言